

平成17・18年度 入札参加資格審査申請（入札参加申込）方法

平成17年4月1日以降、新潟市からの工事・物品の受注を希望する業者（方）は、すべて入札参加資格審査の申請（入札参加申込書の提出）をして、登録される必要があります。

申請（申込）方法は市町村合併に伴い以下のとおりとなりますので、その概要についてお知らせします。

合併後は入札案件、納入金額にかかわらず原則として、新潟市へ物品を納入する事業者、委託業務を受注する事業者は登録が必要となります。

業種	工事（小規模修繕工事希望者登録除く）、工事コンサル、物品（修繕も含む）、委託（リースも含む）
申請（登録）対象者	<input type="radio"/> 工事業者：建設業許可者（経営規模等総合評価値通知書取得者） <input type="radio"/> 工事コンサル業者：コンサル登録資格者 <input type="radio"/> 物品（修繕も含む）、委託（リースも含む）：特に資格の限定はしません。 ＊税未納者は、原則として登録は認められません。
申請書様式申請方法	以下の2通りとなります。【申請様式：新潟市独自様式（一部県様式）】 1. 工事、工事コンサル業者は原則電子申請（電子画面に申請事項を直接入力し、送信） 2. 物品、委託業者は紙申請（申請書に申請事項を記入し、申請書を提出）
提出要領及び申請書取得（購入）方法	<input type="radio"/> 工事業者・工事コンサル業者 以下の2通りとなります。 1. 新潟市ホームページ（ http://www.city.niigata.niigata.jp ）からダウンロード 2. 新潟市が指定する印刷用紙販売所からの購入 <input type="radio"/> 物品納入（修繕）業者・業務委託請負（リース）業者 紙申請のみとなります。（申請書に申請事項を記入し、申請書を提出）
受付期間	平成17年1月12日（水）～2月7日（月）
紙申請の場合の申請書提出先	合併する13市町村に本店がある場合は、本店の所在する市町村に提出してください。横越町での受付は、原則として横越町に本店がある事業者のみとなります。 ＊郵送での受付はしません。

【問い合わせ先】横越町役場 総務課 財政係 ☎385-2111 内線218

12月12日、藤山会館で藤駒・うぐいす地区合併懇談会、19日には二本木地区コミュニティセンターで二本木町政懇談会が、各自自治会の主催により開催されました。

各会場には、区長さんをはじめ住民の皆さん、行政から町長や課長などが出席。住民から合併後の生活はどう変わるのか、JR新駅の設置や道路整備などについて質問があり、地域振興策や制度変更などについて町長や担当課長が説明し、活発な意見交換が行われました。



二本木町政懇談会



藤駒・うぐいす地区合併懇談会

合併を促す声援

意見交換

新・新潟市 総合計画

1万人アンケート結果まとまる

計画策定の基礎資料に

「新・新潟市総合計画」策定のための1万人アンケート（新潟市政世論調査）の結果がまとまりました。この調査は、横越町の140人を含む平成17年3月21日に合併する市町村の住民1万人を対象に実施したものです。今後は、今回の調査結果の分析を行い、同計画の策定に反映していきます。

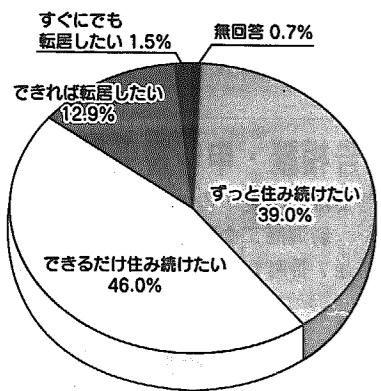
新・新潟市総合計画は、政令指定都市移行後の新潟市が目指すべき姿と、その実現に向けた施策全般にわたる方向を示すもので、平成19年度以降の新潟市の基本となる計画です。

今回は、「暮らして住みよさ」「今後の行政サービス」「教育」「都市と農村の土地利用」「現在の市（町・村）政とのかわり」「新・新潟市の将来像」をテーマとして、住民基本台帳から無作為に抽出した、横越町ならびに合併市町村に居住する20歳以上の1万人を対象に実施しました。53.2%に当たる5,324人から回答がありました。調査結果から一部を抜粋して紹介します。

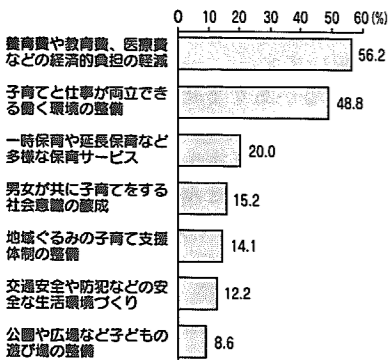
暮らして住みよさ

生活環境評価として、身の回りの現在の状況について、大変良い・どちらかといえば良いと評価した項目は、「日常の買い物などの利便さ」が41%で最も多く、どちらかといえば悪い・大変悪いと評価した項目は、「道路や施設のバリアフリー化」で50.5%でした。

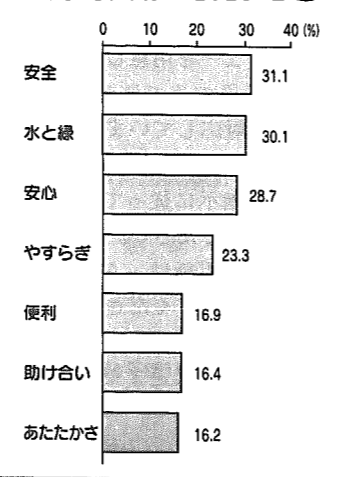
グラフ1 定住意向



グラフ2 安心して子育てできる環境づくりのために大切なこと



グラフ3 新・新潟市のまちづくりで大切にしたいこと



今後の行政サービス

安心して子育てできる環境づくりのために大切なこと（上位2つを回答）は、「養育費や教育費、医療費などの経済的負担の軽減（56.2%）」「子育てと仕事ができる働く環境の整備（48.8%）」が上位に挙げられました（グラフ2）。

現在の市（町・村）政とのかわり

市（町・村）政への関心度については、「やや関心がある（45.8%）」が最も多く、「大いに関心がある（23.2%）」を合わせると約7割の人が関心を持っている。

新・新潟市の将来像

新・新潟市のまちづくりで大切にしたいこと（上位3つを回答）は、「安全」が31.1%と最も多く、次いで「水と緑（30.1%）」「安心（28.7%）」などの順になりました（グラフ3）。

新・新潟市に対する施策要望（上位3つを回答）として「高齢者福祉対策（38.8%）」が最も多く、次いで「保健・医療体制の充実（21.4%）」が続き、福祉や保健の充実が求められています。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。